

箱根組ニュース

第360号 2023年 4月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

御前山に7名！ サスザワ山からの奥多摩湖は絶景でした。奥多摩駅前で楽しい打ち上げ！

3月19日(日)、JR中央線東京駅発
5時44分の快速高尾行きに乗車。(ダ
イヤ改正で少し時間が変更)立川で青梅
線青梅行きに乗り換え、青梅で奥多摩行
きに乗りかえる。

奥多摩駅に7時46分着。8時発の峰
谷行きバスに乗車。奥多摩湖に8時1
5分着。

湖畔で身支度、ストレッチをする。天
ぷらを何度かやった懐かしい湖畔だ。

8時40分、出発。ダムの上を歩いて
行く。右の湖面に青空が映っている。そ
の奥には奥多摩の山々が見えている。ダ
ムの真つすぐ先が御前山だが山頂は見
えていないようだ。左側ダムの外側には
ヘリポートらしきものが見える。

後ろを振り返れば、雲取山から連なる
石尾根の六石山らしき姿が見える。こち
らよりかなり高く見える。次回はここへ
行きたくなる山容だ。六石山に登って奥
多摩駅まで尾根を下ればかなり充実の
行程だ。ダムを渡って反対側に着くと突
き当り、道は左側に曲がってゆく。少し

上ると山道の入り口だ。

8時57分、御前山目指してまずはち
よつと急な石の階段上りだ。小尾根に着
くと尾根を左に曲がる。右には展望広場、
頂上広場と案内がある。

早速岩交じりの尾根道だ。木の根も多
い急な道を登って行く、これぞ奥多摩と
いった感じだ。

9時半過ぎ、少し緩やかな植林地にな
る。ピークで一休み。木々の間から奥多
摩湖の湖面が見える。

9時50分、少し下って鞍部になるが
しばらくしてすぐに上りになる。馬酔木
の多い坂道だ。少し平坦になるがまた登
って行く。

10時37分、サスザワ山に到着。奥
多摩湖に向かって展望台があり絶景だ。
西側の飛龍山や大菩薩方面が見えてい
る。景色を見ながら小休止。

10時43分出発。少し平坦なヒノキ
の林を抜けてゆく。10分ほどで急な植
林地になる。ヒノキの木の根の道を登っ
て行く。30分ほどでまた少し穏やかな



支繰		21385 円
繰入		
支出		
News/HP 作成費	500 円	
当日プリント代	200 円	
現在高	20685 円	

自然林の尾根道になる。

11時18分、目の前に岩の塊が現れる。しばらく岩の道を通過する。そのあとに木の根が密集した上りを超えてゆく。少し緩やかになるとまたすぐにきつい上りだ。

11時47分、尾根道は防火帯のように広くなり日差しもあつて明るい道に登りだ。

12時2分、目の前に芸術的なオブジエのような岩が現れる。その先は明るく広い尾根道だ。目の前が厳しい上りになっている。

12時26分、惣岳山(1348.5m)に到着、休憩。お昼を食べている人がいる。我々はもう少し我慢して先に進む。

左右に立ち入らないようにロープが張つてある。もう少しで咲くカタクリを守るためだろう。左に体験の森に行く道が分かれている。最後に木の階段の道を登って行く。

12時54分、御前山(1405m)に到着。

ベンチに座って昼食だが気温が低いので要注意。衣類を重ね着して保温。お湯を沸かして、味噌汁やコーヒーで暖まる。佐藤さんのジョニ黒のお湯割りは美味しかった。他に持ち寄りの総菜やフルーツで豪華になる。

1時50分、記念撮影をして下山開始。まずは割と新しい木道の階段だ。以前よりずいぶん手入れがされており歩きやすい。右に左に木道階段を曲がりながらの下りだ。

2時2分、右、鋸山、大岳山方面、左は避難小屋を経て境橋バス停方向。左に進路を取る。右に落ち込む斜面の道をすすむ。

2時7分、避難小屋着。しっかりと作りだ。秩父多摩国立公園御前山避難小屋と看板がある。トイレもあり、緊急時には泊まることのできる。その先も右に落ちていく斜面の下りが続く。

2時53分、体験の森の看板。右はカラマツの広場。左はシロヤシオの広場だ。近く

4月16日(日) 長瀬・不動寺通り抜けの桜
らくだコース 徒歩約1時間半

長瀬駅から宝登山ロープウェイ駅横まで歩くと駅の左側にあるのが長瀬不動寺です。お寺内の八重桜を通り抜けるコースを歩きます。桜を見ながらお弁当を食べてゆっくりします。

○持ち物 昼食、カップ、飲料水、非常食、傘、雨具、着替え、タオル、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 4月14日(金)

集合 4月16日(日) 西武池袋駅
7:02発 急行飯能行き
飯能7:51着(乗り換え)
7:54発 西武秩父行き
西武秩父8:45着
(秩父鉄道乗り換え) 御花畑駅9:24発
長瀬9:46着
途中駅発
石神井公園7:12 ひばりヶ丘7:17
所沢7:26 西所沢7:29 小手指7:32
交通費 池袋～長瀬 片道1,276円

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066
携帯メール: satorutomaru@gmail.com
メール: tomarusatoru@hotmail.com
箱根組ホームページ
https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



にカラ
マツの
広場の
東屋が
見える。
真つす
ぐ下っ
てゆく。
3時
24分、
枯れた
沢を超
えると
木製の
階段状
の橋？

を登ってゆく。少し下ると林道に出る。
3時38分、林道右側に再び登山道があるのだが、この栃寄沢登山道が木橋の崩落の危険の為、通行止めになっている。ここから少し長い車道歩きだ。

4時36分、右側の通行止めの登山道と合流する。ここまで約1時間車道を歩いたが、まだもう少しの辛抱だ。

4時50分、左前方に水色の橋が見えている。あそこが境橋バス停だ。バス通りの車道に出て左に曲がる。

4時55分、境橋バス停に到着。
5時2分のバスに乗車。10分ほど

奥多摩駅に到着。西川夫妻とここでお別れし、残る五人は奥多摩駅前で打ち上げをしようとする事になった。

皆さんがトイレに行っている間にいくつか店を訪ねてみる。以前から気になっていた柳小路という細い路地。入ってすぐ右側にちよっとおしゃやれな地ビール屋風のお店。外しか空いてないというので寒いのでバス。駅のトイレの横の通りにある居酒屋はのぞくと登山客で一杯。

もう一度柳小路に戻って少し奥に行くくとネットでも見たことのある「居酒屋しんちゃん」がある。引き戸を開けてみると狭いカウンター右に男性一人、左に女性一人。おかみさんに5人は無理ですかね、と聞くと詰めれば入れますとのこと。すぐに駅前に戻りみんなを呼びに行く。

大分昔、駅前の通りにおばちゃんがつている田舎の食堂風のお店で飲んだことがある、田村さんも一緒だった。それ以来の奥多摩駅前での打ち上げだ。

さて5人で「居酒屋しんちゃん」に入る。右にいた男性はしばらくするとお帰りになった。左側にいた若い女性は、白い割烹着のような服装で最初はお店の人がかな？と思ったが、まさかこんな小さなお店に従業員はいないだろうが、やは

りお客さんでこの後この女性と我々5人、そしておかみさんの7人のドラマのような時間が始まった。

奥多摩で合唱をやっているというおかみさんは御年80歳とのこと。静かな中にしつかりした感じの女性だった。ご主人がなくなつてこの店を一人でやっているとのこと。地元のフキノトウのてんぷらや、お手製の餃子などお袋の味のような美味しさだ。

さて若く見えたお客の女性がユニークな方で新宿から奥多摩に移住してきたとか、実は50歳過ぎていて、今は近くのキャンプ場でパンを焼いているらしい。新宿の何とか横丁のようなこの柳小路が好きでこのお店によく来るらしい。我々はこの方にすっかりリードされ、各自自己紹介をしたり、一緒に歌ったり、おかみさんも時々歌って楽しいひと時だ。

今思えば不思議なこの人に騙されたのかもしれない。

磯部俣先生の合唱曲の歌詞で「ゲンゴウに化かされて・・・」というのを歌ったが、我々は、キツネか狸に化かされていたのかもしれない。

楽しく化かされるならそれはそれで幸せ。

